

石碑は地元住民からは無視されていた。

2000年頃は、尾久に住む議員が「初空襲なんて聞いたことがない、うそだ」というくらい、隠されていたのである。

当時、区が把握していた爆撃地は東尾久八丁目町会の一箇所だった。そこで、東尾久八丁目町会に慰霊の集いへの参加を呼びかけ、証言を集めようとしたが、戦争中から住んでいた人とは出会わなかった。しかし、神奈川に住んでいた被爆当時大門小5年だった古宮一郎さんに出会い、2箇所目を特定することができた。その場所が尾久橋町会内だったため、尾久橋町会にも呼びかけることにした。

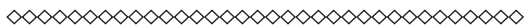
尾久橋町会から数人、毎年慰霊のつどいに参加していただくようになって数年後、田村町会長が自宅の隣が爆心地であり、爆風で飛ばされた経験談を語ってくれた。語ることを禁じられた教えずと守っておられたのだった。ようやく3箇所目が特定できたのだった。

そこから、町会として、尾久初空襲を語り継ぐ運動への取り組みが始まったのである。

私たち、荒川国際平和展実行委員会は、3月10日のイベントと4月の初空襲慰霊のつどいを毎年開催してきたが、10年目の節目に、爆心地に近い、ADEKA本社ホールで尾久初空襲を忘れないコンサートを企画した。このとき、尾久橋町会が中心となつての開催となった。その後、町会を中心に、毎年、首都大学ホール、サンパール荒川大ホール、尾久小体育館、尾久八幡中体育館を会場に、多くの人々が集う、「尾久初空襲を忘れないコンサート」が開催されてきた。また、中学校の副読本に、中学生が町会長を訪ねて、空襲の話を書くという設定で取り上げられた。

そして、今年、原中学校で、全校生徒と大門小6年、地域住民が参加して、公開授業が開催された。内容は、演劇部による副読本の朗読と尾久初空襲を語り継ぐ会による説明である。来年は第七中学校で開催すると発表された。毎年、尾久地域の子どもたちが尾久初空襲から戦争の悲惨さと平和の大切さを考える機会になれば、こんなうれしいことはない。

今後は、語り継ぐ会の内容を深めること、尾久地域以外の学校への平和授業の展開を模索していきたい。



ふれあい絆・活サロン
日曜（にちよう）カフェ

障がいのある人も、こどもも親も、高齢者も、だれでも参加できるサロンです。お茶を飲んでおしゃべりをしたり、おひるごはんを一緒に食べて、みんなの居場所です。
認知症の高齢者も活躍しています。ぜひ、遊びにきてください。

日時：毎週日曜日10:00~15:00

第1日曜日…お楽しみバーベキュー
第2日曜日…冒険あそび場(西日暮里公園)へおでかけ

※都合により変更する場合があります

会場：障害者グループホーム・ピアホーム西日暮里 荒川区西日暮里2丁目2-6
問合せ：080-3252-2061 (七草の会)

参加費無料。
※昼食を食べる方は、
材料費大人300円
こども100円です。

実施団体：ボランティアグループ七草の会
主催：ピアホーム西日暮里・荒川区社会福祉協議会

認知症の母と子ども達の交流の場として始めた日曜カフェだが、集ってくる子ども達の中には、朝ご飯を食べていない、両親とも仕事のため、昼はコンビニのおにぎりなどなど、さまざまな状況が見えてくる。どうぞお立ち寄り下さい。

あなたの意見を区政に

あなたが区政に対して疑問に思っていること、提案したいことなどありましたらこのハガキで教えてください。
お待ちしております。(切手は不要です)

あなたのお名前 _____

あなたのおところ _____

電話 _____ ファックス _____

メールアドレス _____